



## 35万人体制に国鉄再建攻撃と対決する闘う体制を構築しよう！

いよいよ目前にせまった労働第三五回定期全国大会は、過去のいかなる大会にもまして極めて重要な大会として、全国四万七千組合員はもとより、多くの労働者・人民の注視の中で開催されようとしています。全国の労働組合員の皆さん！！今はじまったばかりの労働大改革の闘いを熊本大会をもってさらに全国的に拡大・発展させ闘う労働の伝統を継承し、国鉄三五万人体制の恐るべき攻撃と対決する労働運動を構築しようではありませんか。

### すさまじい国鉄当局の再建攻撃！

去る七月二日、国鉄当局が発表した「国鉄再建の基本構想の内容とねらいについては、この間、『日刊』で明らかにしてきましたが、①一九八五年までの六年間に七万四千人を削減し国鉄を三五万人体制とするという大量人員削減計画であること。②この人員削減を実現するために①ローカル線の廃止、検修・施設・駅の大々的な民間委託化、③乗務員・検修に対する徹底した労働強化をもって私鉄並みの労働条件とする。③このすさまじい合理化攻撃は、国鉄労働運動を解体・再編し、完全な労使協調路線にのめり込ませてしまいう極めて恐るべき意図を持っていること。などの点に要約出来ます。

### 国鉄三五万人体制攻撃に屈服する労働「本部」革マル反動集団！

今日、国鉄労働運動は、「国鉄再建の基本構想」なる大々的な合理化計画をめぐって、重大な危機に直面しているといえます。

すなわち、一般の国鉄大会においては、「経営参加をもって、積極的に国鉄再建に努力する」という極めて面壁的な右翼的な方針を決定しました。さらに労働「本部」革マル反動集団は、その運動方針案において安定輸送宣言をもって、国鉄企業を労使一体となつて防衛し、国鉄再建に労働者をかりたてようとしています。

労働「本部」革マル反動集団は、こうした国鉄当局の再建の攻撃に屈服し、その先兵としての役割を公然とはたしているのです。そしてこの「方針と運動」に反対する部分に対しては、なりふりかまわず、「統制処分と排除の論理」をもって弾圧をかけているのが実態です。

### 全国でつぎつぎと労働改革の火の手が上る！

こうした「本部」革マル集団の極めて反動的な労働私物化と引き廻わしと変質に対し、われわれは、七ヶ月間にわたって勝利的に闘い抜いていますが、この闘いと呼応するかたちで、①第一〇五回臨時中委における「組織の統一と団結強化にむける特別決議」が一〇地本・一分科選出の中央委員によつて提案される事態。②中江昌夫氏の本部副委員長辞任に引きつづく佐藤正喜氏の中央執行委員辞任。③盛岡地本、一ノ関支部橋本四郎氏の「造反」などなど。

「本部」革マル反動集団に対する公然たる決起が相次いで起っています。従つて、第三五回熊本大会が労働改革にとつても今後の国鉄労働運動にとつても、大きな焦点となることは、もはや明白であります。

### 戦闘的労働運動を構築しよう！

全国の労働組合員の皆さん！われわれは、第三五回熊本大会を「安定宣言、水本運動」廃案をもって、真に国鉄労働運動の戦闘的再生をもちと、国鉄再建に三五万人体制攻撃と対決し、激動の八〇年代を闘い抜く方針を確立するのか、それとも、「安定宣言」をもって労使一体となつて国鉄再建合理化に三五万人体制に屈服し、産業報国会への道をつきすすむのか、重大な岐路に立たされています。

全国の労働組合員の皆さん！わが労働千葉と全国の良心的・戦闘的組合員と共に労働改革にむかつて今こそ、前進しようではありませんか。